

大阪府 教育委員会が 求める人物像



第4期

キャリアの 成熟期

分掌や学年など校内組織の長を担うなど学校運営上の重要な役割を担当する。

学級経営から学校経営へ！



学級担任として、子どもの成長に喜びを感じて仕事に取り組んでいましたが、生徒指導や児童会を担当した際、より多くの子どもと関わる楽しさを感じ、管理職の道を志しました。教育委員会での業務を経て、現在、これまで研究を重ねた「主体的に動く子どもを育成する」学級経営を、職員室経営・学校経営に活かして奮闘中！

第3期

ミドルリーダー 深化期

分掌や学年など校内組織のミドルリーダーとして専門性や自らの実績をもとに組織を活性化する。

学校を支え、変えていく



全力で子どもたちと関わった日々や、分掌長として試行錯誤した経験を生かせるのではないかと考え、学校全体をまとめる仕事に挑戦することに決めました。さまざまな立場の意見に耳を傾けながら、よりよい学校運営をめざして日々努力しています。学校を支え、変えていくことで、未来の社会を創ってきたいです。

教職員みんなで 子どもの笑顔がみたい

私は、学校生活の中で子どもたちのキラキラ輝く顔を見るのが大好きです。現在は、子どもたちが安心・安全に学校生活が送れるよう、学校のコーディネーターとして日々教職員と一緒に奮闘しています。指導で悩んでいる教職員が、子どもと接して明るい顔になっていく姿を見るのが私のやりがいとなっています。



陰から支える教育もある

学校の仕組み作りに携っており、生徒と直接関わらずともサポートできるやりがいを感じています。未熟さから葛藤や歯がゆさを抱えつつも、教職員の支えを得て成長を実感する日々です。生徒の可能性を信じるだけでなく、自分の可能性も信じながら、さらなる経験を積み重ねていきたいと思っています。

第2期

ミドルリーダー 発展期

知識や経験に基づき専門性を高め、積極的に実績を積み重ねる。教員としての自立期。

第1期

初任期

教員として基礎的な力や実践力を身に付けている。

第0期

採用時

大阪府が採用時求める教員としての資質・能力。求められる教員像。

大阪府教員キャリアステージ

キャリアステージに応じた資質・能力の向上

「OSAKA教職スタンダード」は共通に求められる資質・能力を、教員等の経験や適正・職責に応じ、5段階のキャリアステージに分けて整理。ステージに応じた研修体系を設けることにより、学び続ける教員を支援します。



魅力ある教員の仕事

4月当初は、不安なことばかりで悩むこともありましたが、しかし、子どもたちが「できた！」「わかった！」と笑顔で伝えてくれた時に、教員になって良かったと思います。教員はいろいろな面で大変な仕事ですが、それ以上にやりがいや喜び、楽しさがあります。ぜひ、一緒に働きましょう。

小学校 教諭



子どもの笑顔は 最大のパワー

新規栄養教諭として着任し、毎日子どもたちのたくさんの笑顔に元気をもらっています。食の指導に楽しさを感じる一方で、どんな指導をすればいいのかと日々奮闘中です。試験対策は大変だと思いますが、食を通してどんな力を身につけてほしいのかしっかりと軸をもち、一緒に大阪府の食育を進めていきましょう！

小学校 栄養教諭



大人も子どもも成長する学校で

まだまだうまくいかないことだらけで、無力感に苛まれることも多いです。しかし、笑ったり悩んだりしながら一生懸命に未来に向かう生徒の姿を見ると、自分も頑張ろうと思えます。子どもたちの成長を間近で感じる中で、自分自身も成長させてもらっています。大人も子どもも成長できる学校で働きませんか。

中学校 教諭



子どもたちの 健やかな成長のために

養護教諭の魅力は児童生徒全員の成長を日々見守れることです。子どもたちが保健室に来て「元気になった！」「〇〇ができるようになった！」と話してくると、成長の一端に関わっているなどやりがいを感じます。子どもたちの健やかな姿をめざして、ともに働ける未来を楽しみにしています。

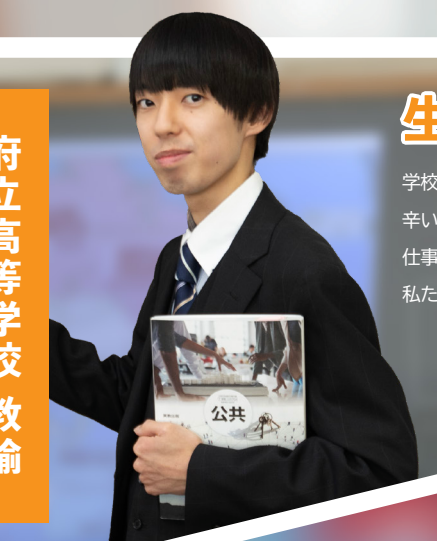
中学校 養護教諭



生徒の青春を支える“おもしろさ”

学校現場は、想像もつかないような事が毎日起こります。中には努力が報われないことや、辛い思いをすることもあります。でも生徒にとって「一生の思い出」に残る瞬間にたくさん立ち会えるこの仕事には、一言では言い表せない真のおもしろさがあります。さあ、あなたも私たちとそんな瞬間に立ち会ってみませんか？

府立高等学 校教諭



子どもたちの笑顔が 私の笑顔に

「教員は、子どもたちの成長を長期間かつ、間近で見ることができる数少ない職業だ」と、支援学校の教員という立場になってより一層思うようになりました。日々の生活の中で子どもたちが少しずつ変化している・成長していることに気づいたときが、「教員をしていてよかったな」と思える瞬間です。

府立支援学 校教諭



小・中学校

小・中学校で、子どもたちの力を しっかり伸ばします

小・中学校では9年間をととして、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくむとともに、互いに高めあう人間関係づくりをすすめています。少人数学級編制や少人数・習熟度別指導など個に応じた指導方法の工夫改善を図るとともに、小学校では、専門分野を生かした質の高い専科指導を行う教科担任制を推進しています。また、英語教育や道徳教育等、今日的な教育課題に対応した先進的な教育実践の充実を図っています。

高等学校

「卓越性」と「公平性」を両立し、 「多様性」の尊重を追求する 府立高校づくりをすすめます

府立高校では、「これからの日本をリードし、世界で活躍できるグローバル人材」とともに、「一市民として社会的・経済的に自立して生きていく人材」を育成しています。そのため、英語教育・理数教育やキャリア教育などの充実のみならず、グローバルリーダーズハイスクールやエンパワメントスクールなど特色ある学校づくりをさらにすすめ、すべての生徒の「学び」を充実していきます。

支援学校

障がいのある子ども一人ひとりの 自立を支援します

府立支援学校では、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を活用して、子ども一人ひとりの教育的ニーズをふまえた指導・支援を行うとともに、自立と社会参加に向け、関係機関と連携し、切れめのない一貫した支援の充実を図っています。また、地域における支援教育に係る中核的な機関としての役割を果たすとともに、自立活動の知見や支援教育における専門性を発揮し、小中学校等の支援教育における取組みを支援しています。

がんばって います！ 大阪の 「教育」



「ともに学び、ともに育つ」 教育の推進

大阪府では、地域の小・中学校等において、障がいの有無に関わらずすべての子どもたちが自らの可能性を最大限に伸ばすことを大切にしながら、ともに学んでいます。高等学校の入学選抜においては、障がいの状況に応じて受験上の配慮を行っています。さらに、知的障がいのある生徒が高等学校で学ぶ取組みとして知的障がい生徒自立支援コースや共生推進教室を設置するなど、障がいのある生徒と周囲の生徒がともに学び、相互の理解を深めています。

教育コミュニティづくりの推進

大阪府では学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の子どもの地域で育てるためのネットワークづくりとして、教育コミュニティづくりに取り組んでいます。教育コミュニティづくりでは、登下校の安全見守りや授業支援などの「学校支援活動」、放課後や週末等に子どもの体験・交流活動や学習活動等の機会を提供する「おおさか元気広場」、保護者が子育てについて学ぶ親学習と訪問型家庭教育支援による「家庭教育支援」の3つの活動を推進しています。

外国人児童・生徒が 本名を使用できる環境づくり

各学校において、在日韓国・朝鮮人の児童・生徒をはじめ、中国、ベトナム、フィリピンなどすべての外国人児童・生徒が本名を使用できる環境づくりをすすめています。